

消防分野における AI 導入マッチングイベントの開催

消防庁では経済産業省と連携し、生成AIの持続的な開発力の向上と社会実装の加速を目的としたプロジェクト「GENIAC^{※1}」との協働のもと、消防分野における初めてのAI導入マッチングイベントを開催することといたしましたのでお知らせします。

消防庁では、令和8年3月に策定した「消防技術戦略ビジョン^{※2}」を踏まえ、重点分野として、「AIの活用による高度な判断支援」及び「ロボット・ドローンの活用による活動可能範囲の拡大」を推進しているところです。

本イベントでは、消防分野におけるAI技術の理解と利活用促進に向け、消防本部等の消防関係者と、AI関連企業が交流・情報交換を行います。消防庁から消防分野におけるAI活用ニーズを提示するとともに、参加企業による技術紹介やブースでの意見交換を通じて、消防分野におけるAI技術の具体的な活用可能性について検討を深めます。

消防本部とAI関連企業のマッチングが成立した際は、消防庁及びGENIACの支援のもとで、消防分野におけるAI技術の活用を推進していくことを想定しています。

※1 https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/geniac/index.html

※2 https://www.soumu.go.jp/main_content/001064554.pdf

1. イベントの名称

「GENIAC×消防庁 消防分野 AI 導入マッチングイベント」

2. 開催概要

(1) 日時

令和8年6月24日（水） 13時00分から16時30分

(2) 参加者

消防本部等の消防関係者 100名程度

AI 関連企業 15社（詳細は別紙参照）

○119番通報の自動応答に必要な技術と親和性のある技術

株式会社 ELYZA

株式会社 IVRy

株式会社 MITSUHIRO

株式会社 Quick

カラクリ株式会社

株式会社ゼネラル

○現場指揮活動の判断支援に必要な技術と親和性のある技術

Fairy Devices 株式会社

株式会社 Highlanders

newmo 株式会社

nocall 株式会社

株式会社 Preferred Networks

株式会社 アトム

日本電気株式会社

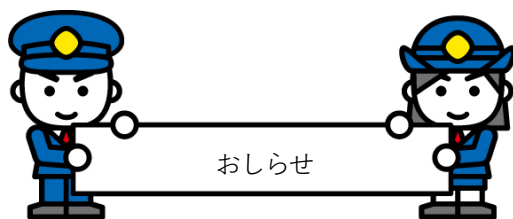
○建物等の防火対策の支援に必要な技術と親和性のある技術

株式会社 ABEJA

東北物産株式会社

(3) スケジュール

13 : 00	開会・挨拶 イベント概要の説明
13 : 10	消防分野における AI 活用ニーズの説明
13 : 45	休憩
13 : 50	参加企業からの保有技術プレゼンテーション
14 : 35	AI 関連企業の展示ブース見学・自由交流
16 : 30	閉会



< 担当 >

消防庁技術戦略室

中嶋・関・佐々木・勝田

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

参加予定企業

119番通報の自動応答に必要な技術と親和性のある技術	
株式会社 ELYZA	・日本語における論理的思考能力に強くアウトプットの品質が高い大規模言語モデルの開発
株式会社 IVRy	・AI が通報音声認識して必要情報を聞き取り、会話をリアルタイムで文字化・要約し重要情報を抽出、設定も簡単に変更できる技術の開発
株式会社 MITSUHIRO	・健康・医療領域に特化したAI エージェントの研究開発 ・住民の適切な受診行動支援、救急需要の適正化をサポート
株式会社 Quick	・119番通報の電話をAI がサポートし、内容の文字起こしや要約、重要な情報の整理、緊急度の判断、次に聞くべき内容を職員に示す仕組みの開発
カラクリ株式会社	・カスタマーサポートを目的とした言語・動画像・音声に対応したモデルの開発
株式会社ゼネラル	・AI が119番以外の問い合わせ電話に対応し、よくある質問への回答や適切な担当部署への転送、緊急性の仕分けを行う仕組みの開発
現場指揮活動の判断支援に必要な技術と親和性のある技術	
Fairy Devices 株式会社	・フィジカル AI 向け端末 THINKLET に垂直統合した遠隔支援、VLM 映像解析、多言語音声対話 AI、パワードスーツの開発
株式会社 Highlanders	・フィジカル AI を軸にヒューマノイドロボット・四足歩行ロボットのハードウェアからソフトウェアまで一貫通貫で自社開発し、製造販売までを展開 ・災害現場やインフラ点検現場で実際に使われるフィジカル AI ロボットを開発
newmo 株式会社	・自動車運行管理システムや配車アプリ等のプロダクト開発、自動運転タクシーの実用化への取組
nocall 株式会社	・災害発生時に適切な協力会社を即座に派遣し災害復旧を迅速化するAI エージェントの開発
株式会社 Preferred Networks	・10B 以下の VLM の開発 ・大手 IT 企業とドローン空撮画像によるインフラ異常点検、ロボット開発企業と工場内における人の動作の分析・検知を実証
株式会社アトム	・産業実装に耐えうる国産ヒューマノイドを量産し労働力を供給
日本電気株式会社	・多様な災害現場の映像から、AI が自動で内容を分析し報告書を作る技術の開発
建物等の防火対策の支援に必要な技術と親和性のある技術	
株式会社 ABEJA	・長文対応軽量言語モデルを用いたAI エージェントの開発を行い、大手保険会社と保険業務における社内ツール連携、レポート作成業務を実証 ・フィジカル AI に係る取り組みも実施中
東北物産株式会社	・消防設備のデジタル審査において、AI により図面上の区画認識や感知器の抽出を自動化する技術